

かがやき

令和4年 9月30日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 8

後期の始まり。季節は実りの秋へ。

秋休みが終わり、後期がスタートしました。季節は実りの秋へ移っていきます。朝夕の空気。金木犀のかおり。夕方、夕闇の中に光る月。季節の変化を五感で楽しみつつ、元気に楽しく後期の生活を送っていきたいですね。同時に気候や気圧の変化(台風等)は気持ちにも大きく影響する場合があります。何か気になるときには学級までお声かけください。

方法は一つじゃない。「相談」から自分なりの方法を見つける。

今月初め6年生のハッ岳移動教室が無事に終了しました。夏休み前にも宿泊学習について6年生と話を共有する時間をもちましたが、その中で「共同生活」について心配なことについて話をしました。集団部屋で寝ること。時間通りに行動できるかどうか。お風呂。いくつかの気にしていることが出てきました。「まあ何とかなる」でクリアできる子もいれば、こうした心配事が一大事になる子もいます。ここで大切にしたいのが「一大事になることもあるよね。」とみんなで考えられることです。さらに大事なのが自力で「何とかなる」こともあれば、「どうすればいいかわからないこともあることがわかる」ということでしょうか。「どうすればいいかわからないこと」。0か100かで考えがちな場合「行かない」「やらない」という選択肢に直結するかもしれません。また、自身の不安感もあり、こうした行事への苦手感が増大して固定化されてしまうこともあるかもしれません。でもこんな場合に「相談」することのスキルに導いていけるようにかがやきでは指導を行います。自分が考えられる以外の「何か」が答えとしてあるかもしれない。「相談」してみてもちがう条件ならできるかもしれないと思えるスキル。この「力」は自分の世界を広げてくれるものでもあると思います。実際のエピソードとして、宿泊学習に向け、友達との入浴の心配をする子がいました。その子は学級の先生に「相談」しました。すると、「時間をずらそうか」「シャワーだけにしてみようか」「タオルで体を拭くだけでもいいか」等いくつかの条件を見つけることができました。そして、自分ができそうな方法を見出すことで宿泊学習に参加することができました。0(不参加)か100(完璧な参加)かではなく、「相談」によって自分に合う条件やり方、考え方が見つかる。このことは今後いろいろな場面で必要となる大切な「スキル」です。今後も「相談」について得られる0と100の間にある可能性について子ども達と考えていきたいと思いました。大人も同じですよ。

かがやき4 コマ劇場



お知らせ

・個別指導計画について

個別支援計画の内容を確認していただき、左下(裏面の場合もあります)の保護者チェック欄に☑と日付の記載をお願いします。

・生活支援シートについて

生活支援シートの記載内容を確認していただき、変更、改定、新規事項等がある場合は赤ペンで記入して学級までお戻しく下さい。

※入っていた封筒に入れて、かがやきへの返送を必ずお願いします!

秋の新作えほん



「だれにだってこまることはある」

なんでもできる、と思われていたヨカッタナーくんにも、にがてなことがあった。にがてなことを自分なりに対処する方法が紹介されている作品です。



「0か100ではなく…」

いちどでも失敗すると「もうやらない!」となってしまうスピードくん。まわりの声かけから、ねばりづよく、自分なりにとりくむことが大事だと気づき、行動を考えていく物語。



